

八基連だより

令和7年11月号
第409号



発行日 令和7年11月1日(土)
発行所 八王子囲碁連盟
住 所 八王子市美山町1287-9
電 話 042-651-9764
発行者 藤森 力
編集者 巻淵 正治



<https://hachigoren.com>
八王子囲碁連盟



日本棋院での一般対局(10月9日)

巻頭言

もう一つの趣味・時代小説のマニア

八王子囲碁連盟の目的

八基連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

南大沢同好会会長 武中章三

囲碁の他にこんな趣味。図書館で借りた書籍の記録を付け始めて、早や15年。その殆どが時代小説の文庫本で、その数は相当量になる。タイトルを忘れて、同じ本を借りてしまうことが度々。それで、パソコンのエクセルで記録を付けることにした。お陰で、二度借りは殆ど無くなった。

この15年間で、図書館から借りた小説の総数は、3247冊(2025年9月末現在)。年平均にすると約210冊、月平均では約18冊。1週間に1～2度は、図

書館に通っていることになる。

借りるものは、新刊本が中心。インターネットで時代小説作家を検索し、読みたいものがあれば図書館に申し込む。

15 年間に借りたなかでは、佐伯泰英の時代小説が圧倒的で、集計すると 313 冊であった。主なシリーズのタイトルは、「密命」20 冊、「居眠り磐音江戸双紙」56 冊、「吉原裏同心」40 冊、「酔いどれ小藤次留書」46 冊、「古着屋総兵衛影始末」29 冊、「交代寄合伊那衆異聞」23 冊、「鎌倉河岸捕物控」32 冊などである。

ついでに他の作家も挙げると、浅黄 斑の「無茶の勘兵衛日月録」、あさのあつこの「弥勒」シリーズ、荒崎一海の「闇を斬る」、稲葉 稔の「隠密船頭」シリーズ、岡本さとの「仕立屋お竜」、風野真知雄の「妻はくノ一」、上田秀人の「奥祐筆秘帖」、門田泰明の「浮世絵師宗次日月抄」、小杉健治の「風列廻り 与力青柳剣一郎」、佐伯泰英の「吉原裏同心」シリーズ、坂岡 真の「鬼役」シリーズ、芝村涼也の「返り忠兵衛江戸見聞」、鈴木英治の「口入屋用心棒」、高田 郁の「あきない世傳」、辻堂魁の「風の市兵衛」、鳥羽 亮の「はぐれ長屋の用心棒」、中西モトオの「鬼人幻燈抄」、早見 俊の「居眠り同心影御用」、牧秀彦の「算盤侍影御用」、森 詠の「剣客相談人」、吉田雄亮の「深川鞘番所」などとなる。

荒崎一海の「闇を斬る」（全 7 巻）は、2011 年、2013 年、2017 年と三度も借りてしまった。そして暇にまかせては、あらすじや剣劇場面を PC に入力し、読み返し、楽しんでいる。

最後に、前述した時代小説には、続編が多くあり、特にあさのあつこの「弥勒」シリーズは、次の発刊までの期間が長く、首を長くして待ち望んでいる今日この頃である。



お知らせ

★第 75 回八王子市民文化祭・囲碁大会

（広報はちおうじ 9.15、八王子市民文化祭プログラムに掲載）

日時： 11 月 23 日 （ 受付開始 9：30、閉会 17：00）
会場： 東浅川保健福祉センター
参加費： 1000 円（高校生以下 300 円）（弁当付）

★令和 7 年度八碁連二段以下・囲碁大会実施要領

傘寿のお祝いと指導碁を開催します。大会参加と指導碁の申し込みは同好会会長を通じて下記の三島理事まで。締切は、いずれも 11 月 23 日（日）です。

日 時 : 12 月 7 日（日）9：00～17：00
会 場 : 東浅川保健福祉センター 4 階
参加資格 : 二段以下
参加費 : 千円（昼食付）
申し込み : 三島敏明（TEL 657-3447 toshi15mishima@kta.biglob.ne.jp）

＜指導碁担当（八碁連支部常任幹事 三島敏明）＞

プロ棋士（吉原由香里六段）による 3 ラウンド 4 面打ち
日 時 : 同日の 10：30～16：30 を予定してます
参加資格 : 三段以上の八碁連会員 12 名（先着順）
参加費 : 二千元

★第 2 回八碁連同好会対抗団体囲碁大会（9 月 21 日）の結果

8 同好会＊2 チーム（A, B）で 16 チーム、48 名による団体戦

優勝 : 大和田 B チーム
準優勝 : 浅川 A チーム
三位 : 浅川 B チーム
三位 : 石川 B チーム（敗者復活）

★令和 7 年度三段以上・囲碁大会（10 月 5 日）の結果

参加者 38 名

浅川 11 名、恩方 4 名、元八王子 1 名、中野 6 名、大和田 6 名、
石川 6 名、長房 2 名、南大沢 2 名

A クラス 19 名

優勝 : 柳 豊太郎 (大和田/7 段 C→7 段 D)

準優勝 : 青山 格 (大和田/7 段)

三位 : 金本 好正 (石川/8 段)

B クラス 19 名

優勝 : 木村 勇 (南大沢/3 段→4 段)

準優勝 : 三浦 庸夫 (恩方/5 段)

三位 : 石川 幌二 (石川/5 段)



同好会対抗団体戦



三段以上・囲碁大会

【編集後記】

恩方同好会や大和田同好会では、囲碁の普及のため、初心者や、級位者に対して手厚く教えているとの話を聞きつけ、取材に行きました。

恩方では会員が 42 名と同好会で一番活況を呈していますが、これまでの会長である藤森さん、久島さん中心にみんなが仲良く励んでおり、感心しました。毎週水、金、日と三回も研修碁を開催し、対局者の選定、途中での石の並べ直しなど、真剣に励んでいました。

大和田では二回目の取材になりますが、毎週土曜日 9:00~12:00 の開催。囲碁の普及を目的としており、参加者は 18 名で、熱心に学んでいました。最初の 1 時間は詰碁の勉強、次の 1 時間は次の 1 手。最後の 1 時間は指導碁による対局です。教材は講師の池田さんが自前で準備しておりました。

石川でも最近ですが、初心者、一級、初段クラスの人が顔を見せております。

空いた人が相手を務めておりますが、システムとしての対応がなされていません。要望に応えられるよう、目下検討中です。先ず、教材（入門編）や道具（9路盤、7路盤）をそろえようと、先日、日本棋院に行ってきました。木曜日でしたが一般の対局ホールはほぼ満員で、高齢者が嬉々として励んでいました。（表紙の写真参照）。私も普及に一役買おうと思った次第です。